

## 理学療法科の3つのポリシー

### アドミッションポリシー(入学者受け入れ方針)

専攻科理学療法科は、視覚障害者のための教育機関として教育を通じて、幅広い教養と専門的な職業能力を併せもつ専門職業人を養成し、視覚障害者の社会的自立を図ることを目的としています。更に共生社会の中で活躍し、社会に貢献できる人材の育成を目指しており、本校の入学を希望する者には以下のような資質と能力を備えた人材を求めます。

- ・基礎学力として知識と理解がある人
- ・医療の分野に興味を持ち、積極的に学習する意欲がある人
- ・強い探究心や責任感をもって主体的に行動ができる人

専攻科理学療法科は、推薦入試・一般入試において、学力調査、小論文、集団討議、個人面接、適性検査など、多面的な評価による入学者選抜を実施します。

### カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施方針)

専攻科理学療法科では、理学療法士になるために必要な医学や理学療法学全般について学びます。基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3つの分野を体系的に編成します。教育目標については以下のように定めます。

- ・人の尊厳を理解し豊かな人間性や倫理感を育成する。
- ・自他の障害に対する理解をし、社会に還元できる人材を育成する。
- ・理学療法士として必要な高い専門性を持つ人材を育成する。
- ・職業人として自主的に行動するための判断力、行動力を育成する。
- ・社会生活におけるコミュニケーション能力を育成する。
- ・グローバル社会に対応できる幅広い視野を持つ人材を育成する。

### ディプロマポリシー(卒業認定方針)

専攻科理学療法科は、視覚障害者の教育機関として調和のとれた人間形成を促し、社会に貢献できる人材育成を教育理念としています。教育理念に沿って所定の単位を修得するとともに、以下の要素を身につけた者に卒業を認定します。

- ・医療、福祉、保健、研究機関等における高度なリハビリテーション医療の分野で、活躍できるための知識や技術の習得
- ・未来を担う社会人として、地域に貢献できる能力
- ・他者と共働しながら多様な文化を理解し、広い視野をもって行動できる能力